



『第55回日本臨床眼科学会の開催をおえて』

日本臨床眼科学会が国立京都国際会館にて昨年10月11日より14日までの4日間開催され5,900人もの方々のご参加をいただきました。一般演題721題を含むすべてのプログラムを無事終了することができましたことをご報告させていただきますと共に、参加していただいた先生方はもちろん、多方面から御支援いただきました京都眼科

眼がひらく」をキッシュプレースに今までにないオープニングモ

ジュールやRun for visionなどを企画しました。よりグローバルな新しい眼科診療や視覚障害への対応のあり方を心で感じていただけたのではないのでしょうか。不測の事態として米国でのテロ事件がありましたが、予定していたほとんどの海外招待の方々にご参加していただけただけは幸いです。また新しい試みとしてのテーマセッション、グランドラウンドライブなどの企画もご好評いただきましたが、より教育的な内容を目的としたインストラクションコースやスキルトランスファーなどの企画をどのように学会に組み込んでいくかは今後の課題となりました。インターネットやPCプレゼンテーションなど学会運営もIT革命とともに日進月歩の時代であり、今後の学会スタイルも変化していくことが実感されます。学会開催中これ以上ないという秋晴れに恵まれ何よりでしたが、運営上でいたらぬ点やご迷惑をおかけしたことをお詫びすると共に、この場をかりてご協力いただきましたみなさまにお礼申し上げます。

医会の先生方に厚くお礼申し上げます。京都は学術あふれる街ではありますが、もっとも多くの眼科医が集う臨床眼科学会が京都府立医科大学と京都眼科医会の主催で開催されるのは55回の長い歴史の中で初めてのことであります。また各種学会や医学情報が氾濫する現状において、21世紀幕開けの学会のもつ意味は一種の学会改革としても重要な位置づけがあります。特に主催者側として開催に向けては(1)学会の意図とするコンセプトを参加者に感じてもらえること、(2)楽しく学んでもらえる教育的な内容であること、(3)運営に心がこもりスムーズであること、そして(4)将来の眼科学会に貢献できることの4つを目標として取り組んでまいりました。そして21世紀の眼科学のありかたを考える機会として、「サイエンスへの

第26回日本眼科手術学会総会を京都府立医大眼科学教室が主催いたします。

- 1) 会期：2003年1月31日～2月2日
- 2) 会場：国立京都国際会館
- 3) 第26回日本眼科手術学会総会ホームページ
<http://www.jsos2003.jp>

2002年1月28日OPEN予定
インストラクションコース、スキルトランスファーなどを含む充実したプログラムを予定しております。

「スリーサム・イン道後」

- 1) 会期：2002年7月5日(金)～7月7日(日)
- 2) 会場：愛媛県県民文化会館
- 3) 日本眼炎症学会、日本コンタクトレンズ学会、日本眼感染症学会の合同学会である『スリーサム・イン道後』を、京都府立医大が眼感染症学会を担当し開催致します。遠方ですが温泉もあります。奮ってご参加ください。

事務局 外園千恵

水曜日『黄斑外来』からのお知らせ

我々は現在、加齢黄斑変性症に対し、眼底造影検査(フルオレセイン&インドシアニングリーン)を実施し、黄斑移動術などの観血的治療、経瞳孔温熱療法(TTT)などの非観血的治療を行い、良好な結果を得ております。この度、水曜日午前11時に黄斑外来(安原 徹)を新たに開設いたしました。精力的に取り組んでおりますので、患者さんのご紹介よろしくお願いたします。

編集後記 インフォームド・コンセントはいよいよ大切になる 京都府立医科大学眼科学教室 教授 木下 茂

先生方にはお元気でご活躍のことと存じます。Eye Treat 革命の第2号をお届けします。お約束どおり眼科の最新的话题をまとめてみました。さて、医療はサービスである、医療情報は公開すべきである、という言葉をよく聞くようになってきました。その骨子のひとつであるインフォームド・コンセントは特に重要です。インフォームド・コンセントに嘘があってはならない、しかし患者さんを脅かしてはならない。そのようなインフォームド・コンセントはどうすれば出来るのでしょうか? 今までのように医者の感性やオーラだけで押し切ることは不可能な時代になってきたことは事実です。われわれは、Evidenced Based Medicine (EBM) に基づいた、そして患者サイドに立って標準化されたインフォームド・コンセント作りに励んでいます。

Click here

初めての患者さんのご紹介やお問い合わせでもお気軽にご連絡ください。

連絡先：京都府立医科大学眼科

URL : <http://www.opth.kpu-m.ac.jp>
秘書 津軽麻里または小田智香子
TEL : 075-251-5578 (直)
FAX : 075-251-5663 (直)
E-Mail : mtsugaru@opth.kpu-m.ac.jp
coda@opth.kpu-m.ac.jp

オーダーメイド(OM)紹介システムもございます。

- ▶ OM1 : ご紹介 診断を当科で(治療・経過観察は紹介医で)
- ▶ OM2 : ご紹介 治療(手術)を当科で(経過観察は紹介医で)
- ▶ OM3 : ご紹介 診断・治療・経過観察すべて当科で
ご希望を紹介状にご記入ください(例: OM1 希望)